

# 薬学実習Ⅲ

責 任 者 : 那谷 耕司 教授  
担当講座(科) : 臨床医化学講座、薬剤治療学講座

実 習 30 時間  
単 位 1 単位

学 年

4 学年 後期

## 学習方針

### 基本理念 :

薬学実習Ⅲでは、医療薬学、薬剤治療学、病態生化学に関連する各講義で得た各種疾患の病態と薬剤治療に関する基本知識に基づき、指定された疾患に関する症例について情報を集めてグループ討議する。さらに、具体的な臨床検査値・症候に基づいた薬剤治療法の意義および代表的な処方箋について討議、実習する。本実習は、「臨床医化学」「処方解析学」双方の連携を図りながら、実務基礎実習と連動して系統的に行う。そのため、全日程の出席と各講座の担当する実習全てに合格することを原則とする。

## 成績評価方法

各実習の評価を総合して評価する。

## (臨床医化学実習)

責 任 者 : 那谷 耕司 教授

担当講座 (科) : 臨床医化学講座 (協力: 薬剤治療学講座)

### 一般目標 (GIO) :

医療薬学、病態生化学、薬剤治療学、薬理学等の講義を通して習得した各種疾患の病態、薬剤治療に関する知識に基づき、指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬剤治療法を考案できる能力を身につけることを目指す。

### 到達目標 (SBOs) :

1. 代表的な疾患における薬剤治療と非薬剤治療 (外科手術、食事療法など) の位置づけを説明できる。
2. 適切な治療薬の選択について、薬効薬理、薬物動態に基づいて判断できる。
3. 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬剤治療法を考案することができる。

### 実習日程

受講者を2グループに分け、クラス1は11月28日～12月5日の3・4時限目、クラス2は11月10日～16日の3・4時限目に実習を行う。

(実施部屋: 東1-D講義室、SGL教室)

クラス	月日	曜	時限	講座 (科) 名	担 当 者	内 容
2	11/10	木	3・4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナシイン・シェルビー 助教	実習ガイダンス 症例シナリオの呈示 (実施部屋: 東1-D講義室)
1	11/28	月				
2	11/11	金	"	"	"	症状、検査結果などから考えられる疾患について討議する。 (実施部屋: SGL教室、東1-D講義室)
1	11/29	火				
2	11/14	月	"	"	"	疾患に対する適切な治療法について討議する。 (実施部屋: SGL教室、東1-D講義室)
1	11/30	水				
2	11/15	火	"	"	"	実習全過程のまとめ (実施部屋: SGL教室)
1	12/ 1	木				
2	11/16	水	"	"	"	実習全過程についてのプレゼンテーション (実施部屋: 東1-D講義室)
1	12/ 5	月				

教科書（教）・参考図書（参）・推奨図書（推）

	書名	著者名	発行所	発行年
参	やさしい臨床医学テキスト	大野 勲 他編	薬事日報社 (定価 4,400 円)	2008
参	治療薬マニュアル 2011	北原 光夫、上野文昭、越前 宏俊 編集	医学書院 (定価 5,000 円)	2011
参	スタンダード薬学シリーズ6 「薬と疾病Ⅱ 薬物治療（1）」	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価 5,300 円)	2005

成績評価方法

出席状況、実習への取り組み方、プレゼンテーション、実習レポートなどから総合的に評価する。

## (処方解析学実習)

責 任 者 : 西郡 秀夫 教授

担当講座 (科) : 薬剤治療学講座 (協力: 臨床医化学講座)

### 一般目標 (GIO) :

代表的な疾患における治療薬の作用および選択基準を理解し、臨床における薬剤治療法の可能性を議論することにより、治療薬の適否を議論できる。

### 到達目標 (SBOs) :

1. 代表的な疾患において適応が認められている治療薬について効能、効果、用法、用量を列挙できる。
2. 代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。
3. 代表的な医薬品について医薬品間での薬物相互作用を列挙できる。
4. 代表的な医薬品と食物及びサプリメント間での相互作用を列挙できる。
5. 薬剤治療学的な立場から、合併症などを併発した病態を理解し、個々の症例に適した薬剤選択の根拠を説明できる。

### 実習日程

受講者を2グループに分け、クラス1は12月8日～12月14日の3・4時限目、クラス2は11月17日～11月24日の3・4時限目に実習を行う。

(実施部屋: 東1-D講義室、東4-C実習室、SGL教室)

クラス	月日	曜	時限	講座 (科) 名	担 当 者	内 容
2	11/17	木	3・4	薬剤治療学講座	西郡 秀夫 教授 三部 篤 嘱託教授 鏡 圭介 助教 手塚 優 助教	実習概説、課題処方1を用いたSGD (実習概説: 東4-C実習室、SGD: SGL教室)
1	12/6	火				
2	11/18	金	"	"	"	課題処方1発表会 (東4-C実習室)
1	12/8	木				
2	11/21	月	"	"	"	課題処方2を用いたSGD (SGL教室)
1	12/9	金				
2	11/22	火	"	"	"	課題処方2発表会 (東4-C実習室)
1	12/12	月				
2	11/24	木	"	"	"	薬剤交付実技演習及び実習試験 (実技演習: SGL教室、実習試験: 東1-D講義室)
1	12/14	水				

教科書（教）・参考図書（参）・推奨図書（推）

	書名	著者名	発行所	発行年
教	薬学生・薬剤師のための知っておきたい医薬品選 600 増補版	日本薬学会 編	じほう (定価 3,200 円)	2009
参	わかりやすい疾患と処方薬の解説 2010	齋藤 康(監修)	アークメディア (定価 6,000 円)	2010
参	治療薬マニュアル 2011	北原 光夫、上野文昭、越前 宏俊 編集	医学書院 (定価 5,000 円)	2011

成績評価方法

- 1) ディスカッションへの参加姿勢（主に態度を評価）
- 2) 全体発表会での質問の有無
- 3) 提出課題等（5日目の実習テスト終了後に提出）
- 4) 実技演習
- 5) 実習試験